

地域貢献ディスクロージャー（平成30年3月末現在）

加茂信用金庫と地域社会 この街と生きていく。

○ 当金庫の地域経済活性化の取組みについて

当金庫は、新潟県のほぼ中央に位置している加茂市・五泉市・新潟市、田上町を主要エリアとし、9店舗で事業活動を行っており、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展して行くことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金・積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

お客様 / 会員

1. 預金に関する事項(地域からの資金調達状況)

当金庫では、お客様のニーズにお答えできる豊富な預金商品をご用意して、地域の皆様の着実な資産作りをお手伝いします。
また、大切な資産をより有利に幅広く、楽しみながら運用いただけるよう努力しています。

- ・元金100
年金を受取っている方を対象に最高500万円まで金利を上乗せする定期預金です。

会員数 9,081人

出資金 304百万円

預金
積金

出
資
金

3. 資金(貸出金を除く)の運用状況

有価証券残高	21,620百万円
・国債	479百万円
・地方債	6,983百万円
・社債	10,081百万円
・株式	577百万円
・外国証券	156百万円
・その他の証券	3,342百万円

預け金残高 20,652百万円

預証率 28.29%

預金積金 76,404百万円

6. 文化的・社会貢献に関する事項

1. 加茂市のシンボルである加茂山公園と加茂川の「市民一斉清掃」に大勢の職員で参加し、加茂市の美化に努めています。
2. 「越後加茂川夏祭り」、田上町地域事業「湯のまち巡り」に職員が積極的に参加し、地元の皆様と共に各地の行事を盛り上げています。
3. 毎年6月15日の「信用金庫の日」には、「愛の献血運動」を行っています。

今後、地域貢献活動について、会員や地元住民の皆さんはどんな活動を望んでいるのかなどを検討し、一層充実した地域貢献活動を行う方針です。

2. 貸出金(運用)に関する事項(地域への資金供給の状況)

(1) 預貸率 49.25%

(2) 貸出金残高 37,629百万円

業種別、用途別内訳	事業者	14,766	百万円
	個人	9,605	百万円
	地公体	13,258	百万円
	設備資金	4,262	百万円
	運転資金	10,536	百万円
	住宅ローン	5,771	百万円
	消費者ローン	3,210	百万円

(3) 制度融資取扱状況

新潟県の中小企業支援のための経営安定資金、セーフティネット資金、木材産業等高度化推進資金等や加茂市、五泉市、新潟市、田上町の各市町の制度融資も取扱っています。

また、当金庫独自の事業性融資や消費者ローンについても積極的に取扱いを行っています。

(4) 融資商品

(個人向け資金)

- ・住宅ローン
- ・無担保住宅ローン
- ・カーライフプラン
- ・リフォームプラン
- ・教育プラン
- ・福祉プラン
- ・シニアライフローン
- ・個人・フリーローン
- ・カードローン

(事業性資金)

- ・割引手形
- ・手形貸付
- ・証書貸付
- ・当座貸越
- ・事業者カードローン
- ・大型ビジネスローン
- ・地域支援ローン

加茂信用金庫

地域貢献の体制整備

(1) 店舗体制

9店舗で営業を行っています。
(本店営業部・西加茂支店・上条支店・五泉支店・村松支店
新津支店・田上支店・白根支店・北上支店)

(2) 常勤役員員数

96人 (内訳 理事6人 監事1名 職員89名)

貸
出
金

支
援
サ
ー
ビ
ス

お客様(会員)

4. 今期決算に関する事項

業績につきましては、預金は、一般預金、公金預金ともに増加したことから、期末残高は76,404百万円で対前期比1,496百万円の増加、平均残高も75,790百万円で対前期比442百万円の増加となりました。貸出金は、個人向け貸出が増加したものの、公金貸出が減少したことにより、期末残高は37,629百万円で対前期比321百万円の減少となりましたが、平均残高は37,328百万円で対前期比141百万円の増加となりました。

収益状況につきましては、個人貸出の増加、有価証券利息配当金の増加等により資金運用収益は24百万円増加し、経費削減策等の継続により、33百万円の経費削減ができたことから、業務純益は64百万円、本業の儲けを表すコア業務純益も52百万円を計上いたしました。

不良債権の償却を実施し、また、本年10月に新津支店に統廃合する北上支店の減損、建物解体費用などを特別損失として計上いたしました。株式の売却等を実施し、当期純利益51百万円を計上いたしました。

不良債権比率(金融再生法ベース)は、4.13%と対前期比0.07%上昇いたしました。引き続きお客様に対する地道な経営支援により正常債権への復活をお手伝いし、資産の健全性強化を図ってまいりたいと考えております。また、自己資本比率は18.28%と依然として高い水準を維持しており、このような高い自己資本比率を維持し続けておりますことは、地域の皆様からの高い信頼とご支援によるものと感謝申し上げます。

5. 取引先への支援等

① 顧客ネットワーク化の取組み

各地区後援会、かもしんきん大関倶楽部等で顧客ネットワーク化に積極的に取り組んでいます。

② 経営改善支援先等への支援

融資部 審査課、管理課、支援課と営業店が一体となって、中小企業の支援・再生を積極的に行っています。今後も、企業の将来性、成長性を踏まえた事業性評価に基づき、経営改善のためのアドバイスや企業に役立つ支援を心がけ、積極的に経営改善のお手伝いを行ってまいります。

③ 創業・新事業への支援に向けた様々な取組み

にいがた産業創業ファンドに出資を行っています。地域産業の特性を再度認識し、情報収集により補助金、助成金に関するアドバイスを行いながら、地域活性化に役立つビジネスマッチングを提案し支援する方針です。地方公共団体の産業政策や商工会議所・商工会と連絡をとりながら企業創業等の情報を収集してまいります。

④ 「ふれあいオリンピック」の開催

信用金庫ネットワークを生かした地域活性化プロジェクトとして、村上・新発田・加茂の3金庫が連携し、地元の名産品や自慢の技術をPRしながら販売する「直販型」イベントを開催し、地域の活性化に取り組んでいます。

⑤ 経営相談業務の実施状況

現在、かもしんきん大関倶楽部で経営に関する講演会、企業視察を行っており、今後経営相談業務等の活動も実施して行く予定です。

⑥ 地域の人づくり支援

上記⑤同様に、次世代を担う若手経営者・後継者の資質向上を目的とした「かもしんきん大関倶楽部」で、講演会、企業視察等を行っています。